

(公財)京都市国際交流協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	総合企画局国際化推進室	本市出えん金	100,000 千円
基本財産/資本金	100,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	—
-----	----	------	---

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	京都市国際化推進プランに即した事業促進を進める事を基本とし、協会の20周年時に策定した「20歳の誓い・10年プラン」に明記されている「誰もが社会の一員として、自分の意見や想いを自由に伝えあう事ができる社会」「誰もが世界の人のつながりを実感できる社会」を理想の社会として、その社会の構築のための事業を実施する。
財務面	協会の財務基盤の強化のため、協会収入の多くを占める指定管理料だけではなく、補助金や助成金・寄付金など他の収入増加のための努力を続ける。
組織面	協会運営を担える人材の育成に力点を置く。
その他	特になし

『「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」』欄及び『「今後の方向性」に向けた基本的方針』欄については、平成27年度中に決定した内容を記載している。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	業務に関する取組については、新規事業の展開や、既存事業の充実などにより、新たな利用者層を取り込もうとしている点が評価できる。財務に関する取組では、積極的に他団体等からの収入を確保するとともに、効率的な会館及び事業運営に努めていく必要がある。組織に関する取組では、他団体との職員交流と研修派遣を積極的に実施し、協会の運営を活気づけていくことが望まれる。
-----	---

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	指定管理費が大幅に減少する中、クラウドファンディング等をはじめ増収に関する取組を強化し、寄付金・負担金収入・利用料金収入は一定の増収が図ることが出来た。また他団体との人事交流を実施し、組織の活性化を図ることが出来た。
所管局(※)	クラウドファンディングの利用、企業との協業などこれまでにはない新たな取組を展開し、増収、増客を図ったことは大いに評価できる。また、ボランティアの自主事業や活動人数も増え、市民が多文化共生社会に携わる機会を多く提供している。一方、財務面ではバランスのとれた収支内容にするための一層の努力に励んでいただきたい。
外郭団体総合調整会議(※)	積極的な事業展開による京都市国際交流会館への来場者の増加や、寄附額の増加は評価できる。京都市からの委託料が収入に占める割合が依然として大きいことから、魅力ある自主事業を展開することなどにより、自主財源の確保に努める必要がある。

(公財)京都市国際交流協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標1「施設利用者の増加」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	岡崎地域の活性化のために運営をされている京都岡崎魅力づくり推進協議会との連携事業である「春!kokokaおもてなし広場」など協会が従来から実施している事業に加え、前庭や応接室などを活用し、来館者の増加を図る。また、従来から実施している事業をより充実させ、利用者の年齢層拡大を目指し、在住外国人をはじめ留学生、市民にとって、利用しやすい施設運営をおこなう。
当年度結果 (※)	前庭利用を積極的におこない入館者増につなげることが出来た。

指標①	入館者数の増加					(単位：人)	
中期経営計画	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—		—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	260,000	—	254,801	262,000	—	286,726	

指標②	セミナーイベントへの参加者数					(単位：人)	
中期経営計画	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—		—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	30,000	—	32,566	34,000	—	57,319	

(公財)京都市国際交流協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2 「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」

中期経営計画 における取組	—
当年度目標	市民がボランティア活動に主体的・自主的に関わることで、京都の国際化や共生社会について考える契機となり、誰もが住みやすい地域社会を作っていく、担い手の支援を行う。
当年度結果 (※)	<p>ボランティア登録者数は484名だが、各ボランティア活動の延べ登録者数は709名にのぼる。</p> <p>また、11月3日開催の協会最大のイベント「kokokaオープンデイ」では、当日のみ参加するボランティアを含め321名のボランティアが参加した。</p> <p>さらに、「ボランティア人材育成講座」には48名が参加し、ボランティアの自主企画による写真展の企画・運営に携わり、地域社会の国際化の担い手育成という目標を大いに達成したものと考えている。</p>

指標①	登録ボランティア数 (単位：人)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	600	—	473	500	—	484

指標②	登録ボランティア主催イベント開催回数 (単位：回)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	4,015	4,000	—	3,872

指標③	登録ボランティア主催イベント活動人数 (単位：人)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	13,865	9,400	—	15,078

(公財)京都市国際交流協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	295,529	—	284,852	282,502	—	276,221	
経常費用	308,226	—	279,495	303,742	—	293,072	
当期経常増減額	△ 12,697	—	5,357	△ 21,240	—	△ 16,851	
当期正味財産増減額	△ 12,697	—	5,269	△ 21,240	—	△ 16,851	
資産合計	—	—	374,932	—	—	376,097	
負債合計	—	—	99,431	—	—	117,448	
正味財産	259,716	—	275,501	265,557	—	258,649	
うち累積損益額	159,716	—	175,501	—	—	158,649	

目標1「助成金の増収」	
中期経営計画における取組	—
当年度目標	協会収入の多くを占める指定管理費だけでなく、協会の基盤整備のためにも助成金や事業委託料（指定管理費を除く）など他の収入増加のための努力を続ける。
当年度結果(※)	留学生国民健康保険補助事業の利用件数が当初見込んでいたよりも例年並みに推移したことや、予定していた民間補助金を得ることができなかったため、目標値を達成することが出来なかった。

指標	助成金					(単位:千円)		
	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—			—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	26,340	—	18,172	20,687	—	15,945		

(公財)京都市国際交流協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

目標2「寄付金・協賛金の増収」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	<p>企業とのコラボ事業を積極的に促進させ協賛金の増収を図る。 従来から協会への寄付は募っていたが、寄付者が寄付をしやすいシステムを再検討し、各事業及び協会への寄付の受け入れ範囲を拡大させ増収を図る。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のCSR活動に働きかける ・ 遺贈など寄付対象者を広げるための周知 等
当年度結果 (※)	<p>企業とのコラボ事業を積極的に促進させ、同事業単体目標の218%を達成した。 新たに「クラウドファンディング」による資金調達を実施し、寄付は対前年比232%、対前年189万円増となった。</p>

指標	寄付金の増収						(単位：千円)	
	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—			—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	1,866	—	1,437	2,300	—	3,334		

(3)組織に関する取組

目標1 「職員の能力向上」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	限られた人数による効率的な運営を目指す。そのために有料無料を問わず職員の研修派遣回数を維持し、職員の能力向上を図る。 また、職員の退職に伴う補充の際に十二分に将来戦力となるべき人材を確保する事に努める。
当年度結果 (※)	目標値には達することは出来なかったが、京都市・京都商工会議所・CLAIR（自治体国際化協会）JIAM（全国市町村国際文化研修所）などの研修を積極的に活用し職員の能力向上を図った。

指標	職員研修派遣回数					(単位：回)
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	30	—	24	30	—	27

目標2 他団体への派遣職員	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	過去に4名を他団体に派遣しているが平成27年度も派遣を検討し、職員の能力向上を図る。
当年度結果 (※)	公益財団法人京都市ユースサービス協会と1名の人事交流を実施。

指標	派遣人数					(単位：人)
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	1	—	0	1	—	1